

大会名称: 平成28年度
第69回四国高等学校バスケットボール選手権大会

開催場所: 愛媛県総合運動公園体育館 Bコート

試合区分: No. 2 男子 1回戦

期 日: 2016(H28)年6月18日(土)

主審: 菊池 哲也

開始時間: 09:00

副審: 森 捷平

終了時間: 10:30

<p>徳島市立</p> <p>(徳島2位)</p>	<p>○</p> <p>81</p>	<p>18 — 19</p> <p>18 — 7</p> <p>20 — 28</p> <p>25 — 11</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>65</p>	<p>高知工業</p> <p>(高知3位)</p>
---------------------------	--------------------	---	--------------------	---------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	森本 泰雅	14	2	2	4	0
5	*	下藤 尚輝	16	0	6	4	2
6	*	小川 大輝	4	0	2	0	1
7		佐藤 光	—	—	—	—	—
8		福原 昂大	7	1	2	0	1
9	*	柊 憲志	8	0	2	4	2
10	*	久米健太郎	24	4	5	2	1
11		山本 千尋	—	—	—	—	—
12		三好 大亮	8	0	4	0	2
13		北内 宏明	—	—	—	—	—
14		吉田 拓未	—	—	—	—	—
15		増矢 悠斗	—	—	—	—	—
16		村尾 魁仁	—	—	—	—	—
17		高橋 直也	—	—	—	—	—
18		石川 隼	—	—	—	—	—
HC		竹崎 邦俊 / TEAM					—
		合計	81	7	23	14	9

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	藤橋 幸矢	15	0	7	1	2
5	*	谷内 堅也	0	0	0	0	5
6	*	中越 滉二	10	2	2	0	4
7		橋詰 漢人	—	—	—	—	—
8	*	高橋 春人	3	1	0	0	0
9	*	板垣 伸政	9	1	3	0	2
10		小松 史音	2	0	1	0	2
11		岡田 起虎	—	—	—	—	—
12		渡辺 大祐	6	2	0	0	1
13		除本美祐二	—	—	—	—	—
14		森田 偉吹	—	—	—	—	—
15		岡林 龍生	1	0	0	1	2
16		山岡 寧光	0	0	0	0	0
17		足達 玲太	17	3	4	0	2
18		西岡 和哉	2	0	1	0	1
HC		細木 修 / TEAM					—
		合計	65	9	18	2	21

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル

第1ピリオド、高知工業はオールコートマンツーマンディフェンス、徳島市立はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。高知工業はアウトサイドから仕掛けるのに対し、徳島市立はインサイドからの得点を狙い、一進一退の状況が続く。19-18と高知工業リードで終了。
 第2ピリオド、徳島市立はゾーンディフェンスに変更。高知工業はそれに対し、攻撃が単発になる。徳島市立は#9のドライブインを中心に得点を重ねる。残り4分、連続して#4、#10の3Pが決まり、26-36で徳島市立がリードして前半を終了。
 第3ピリオド、高知工業はゾーンプレスに切り替え、反撃を試みる。高知工業は#12が立て続けに3Pを決めるが、点差を縮めることができずタイムアウトを取る。その後、高知工業がペースを掴み点差を縮める。5点差となったところで、徳島市立はたまたまずタイムアウト。しかし、その後も流れは変わらず、54-56で第3ピリオド終了。
 第4ピリオド序盤、両チームともディフェンスが激しくなり、ミスが増える。残り5分、徳島市立#5、#9のインサイドからの得点が決まり、点差が広がる。高知工業は3Pを積極的に狙うが、決めることができず、15点差となり試合終了。終盤、集中力を切らさなかった徳島市立が、インサイドからの攻めを中心に得点を重ねたことが勝敗を分ける形となった。

担当者: 竹林 和哉(愛媛県バスケットボール協会)

四国高等学校体育連盟・愛媛県教育委員会・四国バスケットボール協会

